

事業所名 株式会社アナテック・ヤナコ

企業概要

代表者名 川勝 依子
住 所 京都市伏見区下鳥羽平塚町 145 番地
U R L <http://anatec.yanaco.co.jp/>
主たる事業 環境計測機器、分析機器の開発・設計・製造・販売
企業紹介

当社は水質汚濁防止法や大気汚染防止法に則り、全国の河川や測定局、大型事業所の排水・排気設備管理のための自動計測器を開発販売してきました。

ガス事業部では40年近く前に日本で先駆けて化学発光法を測定原理とするNOx計を開発し、排ガス分析計など触媒研究用等にも供給しており、環境問題に寄与してきました。



補助対象事業の概要

事業のテーマ:

半導体工場向け高感度アルシン計を開発し、新規顧客を開拓する。

事業の目的と具体的内容

米国産業衛生専門家会議(ACGIH)が2007年にアルシンガスの許容濃度を50ppbから5ppbに下げた事により、従来と違う測定方法が必要となった。今まで培ってきた技術をベースに要求される計測器(警報器)を開発し、新たな市場へ販売する事が目的である。

化学発光法という測定原理を用いて、アルシンガスの超低濃度5ppbを長期間安定して測定できる警報器を開発する。販売台数を伸ばすと同時に市場価格に見合うような原価で製作する事を目標とする。

補助金を受けた成果と今後の展開

アルシンガスの超低濃度5ppbを測定することが早期に解決されたため、当初の見通しは明るいものであった。しかしながら、市場価格に見合う原価で製作する事が想像以上に難しく、使用部品や構成を工夫することにより、可能な限りの原価削減に取り組んだが、長期稼働するうえでの問題を解決するには至らなかった。そのため、量産タイプの装置を製造しているため、低コストでの製作が可能な外注先に筐体部や電気部等、装置の外枠を委託し、測定のとてである部分(検出部等)や性能実験や検証を自社で行った。これにより、市場価格に見合う原価で製作することが可能となった。装置の外枠を外注先へ委託するという判断は、補助金なくしては考えられなかったため、補助事業に選ばれたことが事業成功への大きな要因となった。

アルシンガスは近年クリーンなエネルギーとして注目されている太陽光発電の製作に必須のガスであり、アルシン警報器の需要も今後伸びていくであろうと予想される。